

2012 CHIGASAKI T.C U-12 MATCH REPORT

参加スタッフ 宮崎C、浅井
報告者 浅井

2013年11月30日		大会名		湘南8		会場		馬入G	
対戦カード	茅ヶ崎TCU12 VS 小田原市選抜			kick off	9:10	天候	晴れ		
スコア	1	0-4 1-2	6	延長		PK			
競技時間	20 - 5 - 20		自システム	1-2-4-1		相手システム	1-3-3-1		
対戦カード	茅ヶ崎TCU12 VS 秦野市選抜			kick off	10:50	天候	晴れ		
スコア	5	1-0 4-0	0	延長		PK			
競技時間	20 - 5 - 20		自システム	1-2-4-1		相手システム	1-3-3-1		
対戦カード	茅ヶ崎TCU12 VS 平塚市選抜			kick off	11:40	天候	晴れ		
スコア	8	6-1 2-0	1	延長		PK			
競技時間	20 - 5 - 20		自システム	1-3-3-1		相手システム	1-3-3-1		
対戦カード	茅ヶ崎TCU12 VS ベルマーレ平塚U13			kick off	12:30	天候	晴れ		
スコア	0	0-4 -	4	延長		PK			
競技時間	20分1本		自システム	1-3-3-1		相手システム	1-3-3-1		

名前	P
安藤 翔	DF
広石 英大	MF
深見 純大	MF
小倉 陽太	DF
柴田 壮介	MF
長尾 涼平	DF
鷺尾 征人	DF
伊藤 空	DF
樋口 幹太	FW
吉田 隼人	GK
近藤 真	MF
中新井 蓮	FW
永谷 陵之佑	DF
八幡 旭	MF

■テーマ■ 攻撃の時間を長く保つ

- ボールを失った直後のプレス
- ボールを奪い返した後の展開
- 1対1の仕掛け
- 幅と深さ
- GKからのビルドアップ

前半



後半



★総評:反省:課題

- ・2週間後に控える大会に向けたトレーニングマッチ。各個人のアピール、ポジション適正、連携、課題について確認。
 - ・攻撃時間を長くするためボールを放棄しない、失った直後5秒間の「奪う」を頑張ることをチームのルールとすることは前回からの継続。
 - ・攻撃時、動きの量、質がリアクション対応のため先手を取れず、展開の少ない内容となっていた。(格下相手には個のスピードで打開できてしまう。)
 - ・セットプレーの守備にてルールが曖昧→簡単にマークを外され失点。個々の責任とGKと連携した守備を理解する必要がある。
 - ・オフの際に認知するものが少ない。また攻撃時の優先順位で安全なパスが上位にある選手が多い→よい状態でボールを受ける工夫、身体の向きにこだわりがみられない。→仕掛けの回数が少ないので相手の守備組織が混乱しない→精度の高いフィニッシュにつながらない。
 - ・蹴る技術についても向上の余地有り、ファーストタッチの置き所にこだわりがない→決定機でのシュートを放棄
 - ・また威力コースにもこだわりがみられない。パスに関しても受けての動きを殺してしまう場面多数。100%でつなぐ意識、才能に加えてこだわりをもってプレーしてもらいたい。
 - ・お互いの特徴を理解しようせず「2人以上でのこういうサッカーがしたい」という意図が伝わってこない。→動きがリアクションになってしまう。
 - ・個々の局面の連続→自分を表現し特徴をいかしあう、ピッチレベルでの会話の増加が必要。
 - ・攻撃時の意図的な展開、運攻の選択、守備時の意図的に奪うといった部分の認識が今後は必要。
- 上記より選択してトレーニングに反映、ホームタウンカップでの優勝を目指す。